

盛岡地域ビジネスプランコンテスト
ビジネスプラン概要書【公開】

1 プラン名

ロボット教室「Robodemy 盛岡(仮)」の開講

2 発表者（「商号・会社・団体・学校名」＋「個人名」を基本とします。）

滝沢ロボティクス合同会社 田尻 隼人

3 取扱商品・サービス

	商品・サービスの内容	価格(円)	想定顧客	売上シェア(%)
1	小中高生向けのロボット教室の授業	6,000円	小中学生	
2	ロボットキットTakiRoboF1の販売	18,000円	小中学生	
3				
4				
5				

4 事業計画（月平均）

	創業当初 (千円)	経営安定後(千円)	
		2022年	7月頃
売上高(A)	360		720
売上原価(B) (仕入高)	0		0
経費	人件費(※)	72	144
	家賃	120	120
	支払利息	0	0
	その他	0	0
	合計(C)	192	264
利益 (A)-(B)-(C)	168		456

※個人の場合、事業主分は含めません。

5 セールスポイント

独創性、収益性、実現性、SDGsへの取組み、地域（盛岡市・滝沢市・紫波町・矢巾町）の特色の活用などを記入してください。

近年において、学校教育にもプログラミングを行う授業などが導入されている。しかし、子供たちがプログラミングを勉強していく中で、より興味を持った子が真剣に学べる環境を用意したいと考えた。さらに、プログラミングだけではなく、3D設計や回路などの技術面や、学んだ技術をどう活かすかといった創造的側面をロボットを通して教育していくことでマーケットが創造できる人財を育成したいと考えた。

ロボット教室では4つのコースを計画している。ビギナーコースでは、ロボットやプログラミングに触れて興味を持ってもらう。ベーシックコースでは、自分で考えたアイデアを実際にロボットに組み込むことができるようになる。アドバンスドコースでは、実際に設計からロボットを開発し、自分の思うように動かすことができるようになる。またエキスパートコースでは、自分で実際にロボットを設計・開発し、それがどのようなものなのか、どのように役に立つかを人に伝えることができるようになる。

ロボット教室で行うコースのうち、アドバンスドコース以上を修了した受講生には、指導者として受講生たちに教える立場に回って頂く。受講生に対して教えるという高度なことをお願いするため、アルバイト代として同年代他業種よりも高水準な賃金を渡すことができる。そのため、受講生の保護者としてもロボット教室に授業料が払いやすくなる。このサイクルを循環させることで、SDGsの4, 8, 9, 11にも貢献することができ、受講生だけでなく指導者等すべての人が恩恵を受けられる仕組みとなり、このビジネスが誰ひとり取り残さない良い社会づくりになる。

【留意事項】この概要書は、コンテスト観覧者への配布や、ホームページ等での公開も予定しておりますので、記入内容（個人情報等）には十分に御留意願います。